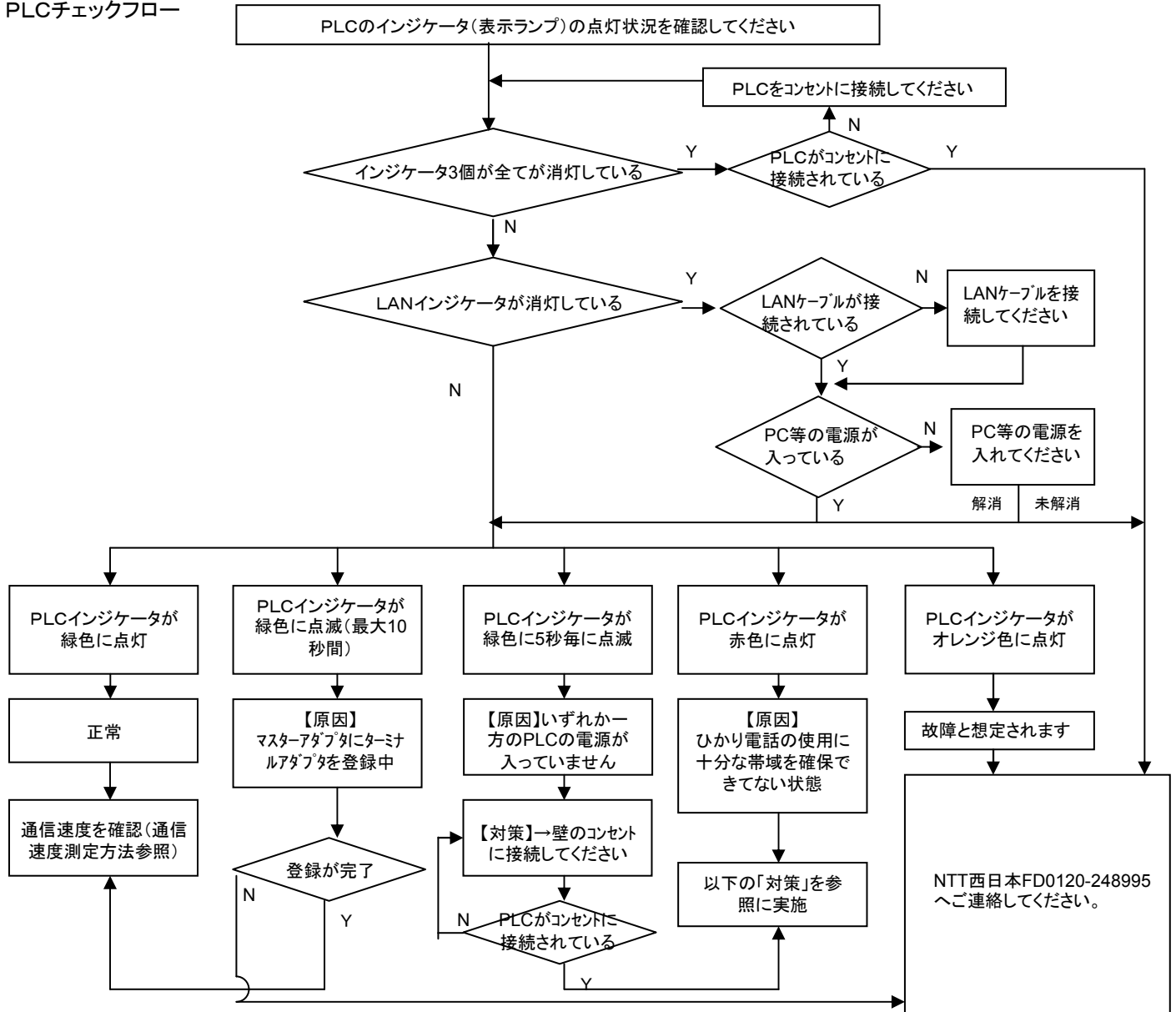


PLCチェックフロー



通信速度測定方法

- 1.ターミナルアダプタのセットアップボタンを約1秒間押下
- 2.測定結果は最低速度と最高速度をインジケータの点灯で交互に切替(5秒)ながらお知らせします(右図参照)

セットアップボタン



	PLC	LAN	POWER	PLC	LAN	POWER	PLC	LAN	POWER	PLC	LAN	POWER
インジケータ	●	●	●	●	●	● (緑点灯)	●	●	● (緑点灯)	●	●	● (緑点灯)
通信速度	遅い			10Mbps以下			10Mbps~30Mbps			速い		

対策

電源コードの長いテーブルタップを利用している場合
→出来る限り電源コードの短いテーブルタップを使用してください

ノイズフィルタ又は雷サージ付テーブルタップを使用している場合
→PLCを壁のコンセントに直接接続してください。
やむなくテーブルタップを使用する場合はノイズフィルタ又は雷サージ対応していないテーブルタップを使用してください

PLCの近くに電化製品が接続されている
→特にノイズを発生しやすい電化製品(充電器、ACアダプタ、ハードドライヤ、掃除機、調光機能付照明器具等)をできるだけPLCと離れたコンセントに接続、又はPLC用ノイズフィルタに接続してください

ノイズフィルタにPLCを接続している
→PLCからノイズフィルタを外し、直接壁のコンセントに接続してください

接続されているコンセントにより、通信信号が減衰しやすい場合があります
→速度が十分でない、通信ができない場合は、接続するコンセントを変更してみてください。(詳細は別紙参照)

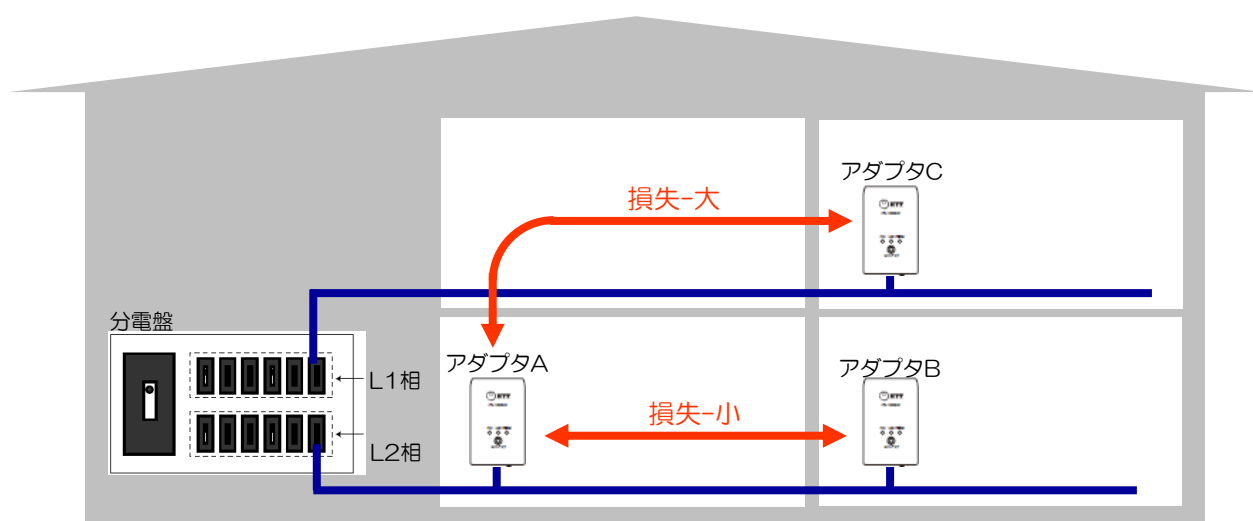
分電盤（配電線の形態）に対する注意点

■ 異相間通信の場合、通信ができない場合があります。

一般家庭の単相三線式100V配線には、L1相、L2相という2種類があります。L1相とL2相間の異相間通信の場合は、同相間の通信に比べて信号が減衰するため、高速電力線通信に影響を与えやすい機器の影響と重なって、通信できない場合もあります。

⇒ PLCアダプタを接続しているコンセントを変更する、もしくは、通信に大きく影響を与える機器をノイズフィルタ等に接続してください。

〔家庭内の分電盤には上下2段にブレーカーが並んだものや横1段のものもあります。上下2段のもののはほとんどは上段がL1相、下段がL2相になっています。詳しくは分電盤のメーカーにご確認ください。〕



異相間通信（アダプタA⇔アダプタC）：損失が大きく通信が通信できない場合もあり。
同相間通信（アダプタA⇔アダプタB）：損失が小さく高速通信が可能。